



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社

コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理部長 (氏名) 鷺本 晴吾

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5733-2121

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	985	△43.2	△306	—	△213	—	△87	—
24年9月期第3四半期	1,734	△69.7	△380	—	△314	—	△685	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 △99百万円 (—%) 24年9月期第3四半期 △458百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	△72.82	—
24年9月期第3四半期	△575.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	4,530	2,466	53.3
24年9月期	6,417	3,632	36.8

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 2,412百万円 24年9月期 2,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当予想については未定としております。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

当第3四半期連結累計期間までの連結業績は厳しい進捗となっておりますが、当期中に予定している投資エグジット、及び各種アレンジメント受託並びに上半期のグループ再編による不採算事業整理の効果などを鑑み、通期での黒字化を見据えております。連結業績予想については現時点で未定とさせていただきます。案件動向を見極めた上で、判明次第、提示させていただくことといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) FINTECH GIMV FUND,L.P.、フィンテックグローバル証券(株)

(注)詳細は、添付資料4ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期3Q	1,209,243 株	24年9月期	1,209,243 株
25年9月期3Q	— 株	24年9月期	— 株
25年9月期3Q	1,197,277 株	24年9月期3Q	1,191,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や金融政策の効果等から円安・株高が進む中で大企業を中心に企業収益が徐々に改善し、個人消費マインドも底堅く推移し、一般的に回復傾向を示すものとなりました。しかしながら、欧州、中国等の海外景気の不透明さが、引続きわが国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明であります。

このような経済環境において当社グループは、企業を支援するブティック型投資銀行として、企業投資と投資銀行業務を中心に事業を展開いたしました。企業投資では、経営支援による投資先企業の価値向上により、複数の中小型案件で投資エグジットに至り収益を計上しております。新規投資では、米国の老舗ハムブランドから日本における独占的営業ライセンスを供与された虎ノ門ハム(株)に投資実行した他、FINTECH GIMV FUND, L.P. (FGF)へ追加投資を実行しておりますが、FGFのライフサイエンス分野での投資先企業は、研究開発の進展や上場会社との合併などにより着実に成長しており、来期以降のエグジットに向けて環境の醸成が進んでおります。投資銀行業務では、地方の中心市街地活性化と高齢者の住居整備に貢献するサービス付き高齢者向け住宅の開発事業のアセットマネジメントを受託した実績を基に、医療機関や介護事業者へ同分野への事業拡大の提案活動を本格化させております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は985百万円（前年同期比43.2%減）となり、FGFの投資回収で322百万円、不動産投資の投資回収で525百万円といった大型投資回収による売上があった前年同期に比べ大幅減収となったものの、不動産投資の投資回収に対応する原価がなくなったことや事業再編による原価低減により売上原価が577百万円減少したことで、売上総利益は879百万円（前年同期比16.4%減）となりました。営業損益については、販売費及び一般管理費が子会社減少による人件費・支払手数料の減少、のれん償却額の減少などによって245百万円減少したことで、306百万円の営業損失（前年同期は380百万円の損失）となりました。経常損益は為替差益93百万円を計上したことにより、213百万円の経常損失（前年同期は314百万円の損失）となり、関係会社株式売却益や事業譲渡益などの特別利益の計上により、四半期純損失は87百万円（前年同期は685百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお当社は、第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありましたフィンテックグローバル証券(株)の全株式を譲渡したことにより、同社の行ってきた投資銀行事業を当社で引続き行うこととしております。これを契機に報告セグメントの区分方法の見直しを行い、第2四半期連結会計期間より、フィンテックグローバル証券(株)が行ってきた「投資銀行事業」と、当社の行う「プリンシパルインベストメント事業」の2つの報告セグメントをあわせて「投資銀行事業」といたしております。

①投資銀行事業

当第3四半期連結会計期間においては、フィンテックアセットマネジメント(株) (FAM)の組成ファンド (FGI戦略投資ファンド) 及びベンチャーファンドであるFGFへ追加投資するとともに、投資エグジットにより売上計上しております。なお、大型投資事業は、対象会社の業績が好調であり更なる企業価値向上が見込めるものと判断し、全持分売却を見送っております。

投資銀行業務では各種アレンジメント案件数の大きな伸びはなかったものの、前期にFAMがサービス付き高齢者向け住宅開発事業のアセットマネジメントを受託した実績を基に、医療機関、介護事業者へ同様の事業の提案活動を本格化させました。

当第3四半期連結累計期間の投資銀行事業の売上高は、不動産投資で525百万円の投資回収があった前年同期に比べ大幅に減少し328百万円（前年同期比61.8%減）となり、営業利益は287百万円（前年同期比213.5%増）となりました。

②アセットマネジメント事業

FAMは、企業投資に係るファンドの投資回収により、ファンドの運営者として成功報酬を獲得しており、第3四半期に入ってからファンドの管理業務で新規受注を重ねております。

この結果、アセットマネジメント事業の売上高は171百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は31百万円（前年同期は146百万円の損失）となりました。

なお、FGIキャピタル・パートナーズ(株)は、平成25年3月29日に当社が同社株式の70%を譲渡したことで、第2四半期連結会計期間末より持分法適用関連会社となっております。

③その他投資先事業

㈱ベルスは、顧客法人の社宅業務受託料の値下げや異動の減少に伴う紹介料収入の減少等により、売上高は386百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は21百万円（前年同期比68.0%減）になりました。

Crane Reinsurance Limitedは、前期までに交付された勘定書により当第3四半期連結累計期間に対応する経過保険料及び保険金支払、並びに経費を計上しております。また、Hardy Underwriting Limited等との仲裁手続を継続しておりますが、これにより経費は前年同期比で大幅に増加しております。これらの要因により、売上計上には至らず（前年同期も売上計上なし）、営業損失は136百万円（前年同期は27百万円の損失）となりました。

これらの主な子会社及び他の子会社の経営成績により、その他投資先事業の売上高は388百万円（前年同期比47.4%減）、営業損失は114百万円（前年同期は215百万円の利益）となり、第1四半期連結会計期間から連結除外したFINTECH GIMV FUND, L.P. (FGF)による投資先企業売却の売上高322百万円があった前年同期に比べ、売上高及び営業損益とも減少しました。

④公共財関連事業

㈱パブリック・マネジメント・コンサルティング (PMC)は、平成24年12月12日付で㈱システム ディに自治体向け公会計パッケージソフトの開発・販売等に係る事業を一部譲渡し、システム開発・保守に係る経費を大幅に削減しております。事業譲渡先の㈱システム ディと連携して、引続き自治体に営業展開を図っており、主力である公会計導入コンサルティング事業に注力しつつ、公会計システム販売による収入も得ることでPMC単体では通期で黒字化することを見込んでおります。

この結果、公共財関連事業の売上高は102百万円（前年同期比39.2%減）、営業損失は6百万円（前年同期は76百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,530百万円（前連結会計年度末比29.4%減）となりました。これは主として、FINTECH GIMV FUND, L.P. (FGF)の連結除外等により、現金及び預金が947百万円、営業投資有価証券が833百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,063百万円（前連結会計年度末比25.9%減）となりました。これは主として、短期借入金が35百万円、預り金が417百万円、保険契約準備金が224百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,466百万円（前連結会計年度末比32.1%減）となりました。これは主として、FINTECH GIMV FUND, L.P. (FGF)の連結除外等により為替換算調整勘定が178百万円増加し少数株主持分が1,199百万円減少したことに加え、四半期純損失の計上及び利益配当により利益剰余金が184百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の連結業績予想については、検討してきた大型投資事案の売却の条件（金額等）により、業績に著しい影響が出るのが想定されるため、合理的な業績予想の提示は困難であると判断し、これまで未定としてきました。当連結会計年度における本事案の売却については、対象企業の更なる企業価値向上が見込めるものと判断し、今般、見送ることとしました。当第3四半期連結累計期間までの連結業績は厳しい進捗となっておりますが、当連結会計年度中に予定している投資エグジット、及び各種アレンジメント受託並びに上半期のグループ再編による不採算事業整理の効果などを鑑み、通期での黒字化を見据えております。連結業績予想については現時点で未定とさせていただき、案件動向を見極めた上で、判明次第、提示させていただくことといたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、FINTECH GIMV FUND, L.P. (FGF) は、当該組合のジェネラルパートナーへの投資の助言等を行うフィンテックグローバルキャピタル合同会社の当社からの独立性が確認されるなどの、当社グループと当該組合との関係の変化を総合的に検討した結果、実質的な支配関係がなくなり子会社に該当しないと判断したため、連結の範囲から除外しております。

また、第2四半期連結会計期間において、連結子会社であったフィンテックグローバル証券(株)の全株式を譲渡したことにより、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,522,754	1,575,238
売掛金	132,127	84,299
営業投資有価証券	2,400,089	1,566,330
繰延税金資産	7,089	8,782
営業貸付金	2,480,482	2,441,939
その他	205,914	144,767
貸倒引当金	△2,025,903	△1,932,057
流動資産合計	5,722,554	3,889,300
固定資産		
有形固定資産	151,253	138,719
無形固定資産		
のれん	259,642	205,960
その他	20,535	7,808
無形固定資産合計	280,177	213,769
投資その他の資産		
投資有価証券	51,419	86,077
その他	212,536	202,422
投資その他の資産合計	263,955	288,499
固定資産合計	695,386	640,988
資産合計	6,417,941	4,530,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,151	10,918
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
短期借入金	40,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,171	—
未払法人税等	27,806	3,964
預り金	474,164	56,401
賞与引当金	26,730	22,979
その他	196,868	283,216
流動負債合計	807,893	398,481
固定負債		
社債	56,000	48,000
長期借入金	2,986	—
繰延税金負債	83,335	69,681
退職給付引当金	99,310	105,725
保険契約準備金	1,648,449	1,424,239
その他	87,304	17,315
固定負債合計	1,977,386	1,664,961
負債合計	2,785,279	2,063,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,312,517	2,312,517
資本剰余金	5,183	12,450
利益剰余金	277,772	93,339
自己株式	△52,412	△5,781
株主資本合計	2,543,061	2,412,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,333	—
為替換算調整勘定	△178,416	—
その他の包括利益累計額合計	△180,749	—
新株予約権	18,005	1,824
少数株主持分	1,252,344	52,496
純資産合計	3,632,661	2,466,846
負債純資産合計	6,417,941	4,530,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,734,834	985,722
売上原価	683,850	106,670
売上総利益	1,050,983	879,052
販売費及び一般管理費	1,431,280	1,185,955
営業損失(△)	△380,296	△306,903
営業外収益		
受取利息	3,353	717
償却債権取立益	52,751	4,538
為替差益	8,254	93,966
その他	8,401	2,933
営業外収益合計	72,761	102,156
営業外費用		
支払利息	2,841	480
支払手数料	3,982	—
事務所移転費用	—	6,478
その他	370	1,807
営業外費用合計	7,194	8,766
経常損失(△)	△314,729	△213,513
特別利益		
関係会社株式売却益	—	25,434
事業譲渡益	—	65,712
新株予約権戻入益	866	16,627
その他	188	6,987
特別利益合計	1,055	114,762
特別損失		
固定資産除却損	3,033	923
関係会社株式評価損	56,212	179
投資有価証券売却損	—	587
のれん償却額	126,767	—
その他	23,330	—
特別損失合計	209,344	1,690
税金等調整前四半期純損失(△)	△523,019	△100,441
法人税、住民税及び事業税	22,312	14,849
法人税等調整額	1,167	△15,347
法人税等合計	23,479	△498
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△546,498	△99,943
少数株主利益又は少数株主損失(△)	138,946	△12,756
四半期純損失(△)	△685,444	△87,186

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△546,498	△99,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,551	—
為替換算調整勘定	58,289	—
その他の包括利益合計	87,841	—
四半期包括利益	△458,657	△99,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△631,891	△87,186
少数株主に係る四半期包括利益	173,233	△12,756

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	アセット マネジメント 事業	その他 投資先 事業	公共財 関連 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	677,454	153,610	735,754	168,015	1,734,834	—	1,734,834
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	181,887	18,790	2,700	—	203,378	△203,378	—
計	859,341	172,401	738,454	168,015	1,938,212	△203,378	1,734,834
セグメント利益 又は損失 (△)	91,708	△146,691	215,401	△76,665	83,754	△464,050	△380,296

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△464,050千円には、セグメント間取引消去95,310千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△559,361千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。また、フィンテックグローバル(株)に対する経営指導料としてそれぞれ投資銀行事業113,000千円、アセットマネジメント事業100,000千円、その他投資先事業10,500千円、公共財関連事業45,000千円を負担しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

連結子会社であるFGIキャピタル・パートナーズ(株)の株式を個別財務諸表上で減損処理したことに伴い、連結にて当該子会社に係るのれんの未償却残高を一括償却し、特別損失に計上したことにより、「アセットマネジメント事業」セグメントにおいてのれんの金額が減少しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、126,767千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	アセット マネジメント 事業	その他 投資先 事業	公共財 関連 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	327,178	170,323	386,073	102,147	985,722	—	985,722
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,000	1,243	2,700	—	4,943	△4,943	—
計	328,178	171,567	388,773	102,147	990,666	△4,943	985,722
セグメント利益 又は損失 (△)	287,539	31,716	△114,320	△6,320	198,615	△505,518	△306,903

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△505,518千円には、セグメント間取引消去95,140千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△600,658千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。また、フィンテックグローバル(株)に対する経営指導料としてそれぞれ投資銀行事業11,000千円、アセットマネジメント事業40,190千円、その他投資先事業15,960千円、公共財関連事業13,500千円を負担しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第2四半期連結会計期間から、フィンテックグローバル証券(株)を連結の範囲から除外したことにより、取締役会への報告単位の見直しを行い、従来の「投資銀行事業」と「プリンシパルインベストメント事業」をあわせて「投資銀行事業」として表示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。